

入札契約制度の見直し、(仮称)上越市体操アリーナなどで総括質疑 「談合の状況証拠」との声もある高落札率続く。抜本的な改革必要だ

9月定例議会が5日から始まり、上程された議案は昨年度の一般会計決算認定、平成29年度一般会計補正予算など40議案です。初日は、市長が提案理由を説明した後、総括質疑が行われ、3議員が登壇しました。

私は日本共産党議員団を代表して昨年度の一般会計歳入歳出決算認定、今年度の一般会計補正予算、上越科学館条例の一部改正についてとりあげ、市長や教育長に質問しました。その大要を2回に分けてお知らせします。

【橋爪】入札契約制度の改善・見直しについて、平成28年度の取組結果の中で、「27年度の改正目的については達成されたと判断」さ

れている。何をもって達成されたかと判断されたのか。また、今後「必要に応じて制度の見直しを行う」としているが何を想定しているのか。

【村山市長】平成27年度に制限付一般競争入札の対象を広げ、工事費内訳書の提出も義務付けた。この結果、制限付き一般競争入札は平成27年度は116件、平成28年度は135件となり、競争性の確保とともに、公平で適正な入札執行が遂行されているものと認められるため、「平成27年度の改正目的が達成された」と評価した。

今後の入札契約制度の改善・見直しにあたりましては、公平性、公正性、透明性及び競争性の確保を基本としつつも、地域経済の活性化や地元企業の受注機会の確保に十分配慮しながら、検討してまいります。

【橋爪】平成27年度、28年度の資料を見ると、指名競争入札、随契約では落札率が若干下がったものの、制限付き一般競争入札では上がっている。これでは目標達成とは言えない。分析すべきだ。

見直しにあたっての問題は高落札率だ。高落札率、一位不動、一者入札はこのままにしてはおけない。東京都のように改革の対象としていくべきではないか。



【池田財務部長】確かに落札率は上昇した。ただ、工種ごとに見ると若干下がったものもあり、潜在的な競争力が高かられたことから「達成した」とした。東京都のこ

とだが、識者には「専門工事は一者入札もあっていい」とのべている人もいる。すべてオーケーとは言っていないが、(特に)問題だとは思っていない。問題が起きたら見直す考えだ。

【橋爪】J・ホールディングス株は設立後満4年が経過し、5年目に入った。当初、極めて短期間で赤字を解消すると意気込んでおられたが、経営健全化はどうも簡単には進んでいないようだ。経営健全化に向けての到達点と今後の課



【アカソ】イラクサ科の多年草。漢字で「赤麻」と書きます。写真の花は赤色ですが、薄緑色の花も。草丈は50センチから80センチくらい。山裾のやや湿ったところにあります。大島区田麦地内の道路脇にて31日に撮影。

題について説明してください。

【村山市長】当初の事業計画に掲げられた経費削減は実現に至らず、平成28年度決算では7社中3社が赤字を計上するなど、全社黒字化の目標には達していない。J・ホールディングス本体においても、設備投資を行ったことなどから約4300万円の累積欠損金を抱えている。今後の課題は、本格的には赤字体質にある事業子会社の収益構造の抜本的改善であると認識しており、7社の総合力を最大限に生かした一層の取組が必要であると考えている。



県・市合同総合防災訓練26年ぶり

新潟県と上越市の総合防災訓練が2日、県立看護大学と関川河川敷で行われました。上越市で県の総合防災訓練が行われたのは26年ぶりの防災関係機関、医療福祉機関、地元町内会などから約2000人が参加する大規模なものとなりました。

訓練は情報伝達訓練、避難訓練、動物同行避難訓練、航空機による被災者救出訓練、消火活動、土砂・がれきの中からの救出訓練など多彩な訓練が行われました。情報伝達など一部で弱点も確認、訓練は大切ですね。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1823 2017.9.10
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四七一回

三八市にて

どんな出会いが待っているか。九月の最初の日曜日、もくもくした大きな雲を見ながら、私は車を直江津の三八市へと走らせました。

海岸に近い駐車場に車を止めると、市へはほんの一分です。西側のお店からビラを配り始めて三つ目か四つ目くらいのお店では、高齢のお母さんがパラソルを開こうとしているところでした。なかなか開けない様子でしたので、手伝いました。バツと開くと、小さなお店が出来上がりました。

ビラを渡すといつも笑顔で「ご苦労さん」と言ってくれる魚屋のKさん、家族みんなが力を合わせている姿がとても素敵です。でも体調が悪いのか、最近はお父さんの姿が見えません。それがさみしいです。

聴信寺の近くまで行くと、まだ九時三分過ぎだというのに、Oさんはもう店じまいをしていました。ナスが少し残ったけどあとは売れたからいいのだとか。Oさんとはいつも聴信寺の掲示板のことで話をします。この日も、「地獄とは言葉が通じない世界」ではじまる訴え文を見て、「これ、誰に言っているかわかるよね」「わかります、わかります」と言葉を交わしました。

果物がずらりと並んでいるMさんのお店、そして最後のH園芸さんまで行って、東側に移ります。

いつも、「また、勉強させてもらいます」と言っただけでビラを受け取ってくださるのは、フルーツを売っているK青果店のそばで、自家産野菜を売っているお母さんです。「あれっ、やせたんじゃない」と言ったら、「また、戻っちゃって……」。この人、いつも控えめなところが魅力です。

東側のお店の七店目かな、柏崎のK養鶏が出しているお店があります。そこで卵を販売している女性に、挨拶をしようとした

ら、市で靴下のお店を出しているKさんがいらして、私に声がかかりました。「この間、おまんのこと、いい人だねとふたりで話をしていたんだ」と。私はとっさに言葉を返しました。「あんまり褒めんでくんない。この人、好きになっただら困るからさ」

そういうと、大笑いになりました。ひとしきり話をして、次のお店へと動こうとしたら、西側で洋服を売っているお父さんから、「旦那さん、ありがとう」という声が発せられました。少し前にお店に行ったときにお留守だったお店です。このお父さんは、私のビラを真剣な表情で読んでおられました。ありがたいことです。

妙高市からやってくるFさんは、タケノコの瓶詰やママシの焼酎漬けなどを売っています。この日は、元気がありませんでした。この日は、国会中継見ていたら頭にきたよ」こんな調子でいつも声をかけてくださるのに、ここにこ笑っているだけでした。夏風邪でもひかれたのでしょうか。

軽トラで浦川原からやってくる花屋さんのもととは吉川区出身の人です。この店のお母さんのお陰で「幸来花」（こうらいか）という花を知りました。丁度、お客さんがあり、私に、「まだ、おまんち、とれないだろね」と言っ、小さなサツマイモが入った袋を渡してくださいました。

紙面の制約があつて紹介しきれないのですが、この日もおいしい漬物で定評のあるYさんや柿崎からやってくるKさんなど大勢のみなさんと交流できました。

三八市の通りは私が二十代の頃、勤めで二年間通った思い出の地です。その市の魅力は何と言っても生産者、販売している人と直接顔を合わせて交流できることにあります。それに思いがけない出会いもある。これからも出かけたきたいと思います。



「ごま干し風景です。吉川区にて1日撮影。」



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月30日(水)	9月6日(水)
上越南消防署	0.040	0.050
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.043	0.047
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.047	0.053
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.057	0.057

【水はうたいます】

「ぞうさん」などの歌で知られる日本の詩人、まど・みちおさんの詩が書かれた絵手紙が高田から届きました。

詩は「水はうたいます」。

「びょうびょう」「ゆうゆう」「ざんざか」「やっほう」など楽しそうですね。

まど・みちおさんの詩は子どももわかる、わかりやすい言葉でつくられた詩です。

トウガラシの絵も素敵ですね。